○○と△△の関係：

〇同志社太郎1）、健康花子2）、健康次郎3)

1）健康支援大学、2）介護予防大学、3）京滋体育大学

【目的】高齢期における筋量、筋力などの骨格筋機能の維持は自立した生活を送るために重要である。骨格筋機能が著しく低下した状態はサルコペニアと定義され、転倒や骨折、身体機能障害による長期介護の危険因子となる。

【方法】

【結果】

【結論】